

とちぎの特別栽培農産物栽培管理計画書

確認機関名	塩谷アグリテック
計画提出日	29年1月30日

生産者	杉山修一	品種名	コシヒカリ・夢ごこち・夢いっぱい・新生夢ごこち・みつひかり・ゆうだい21等
住所	栃木県塩谷郡塩谷町町内742	ほ場	様式6-1-水稲早期参照
電話	0287-46-0741	栽培面積	185424 m ²
作目・作型	水稲 早期栽培	収穫期間	9月10日～11月20日

(計画)

○作業内容 コシヒカリ・夢ごこち、ゆうだい21、みつひかり、新生夢ごこち等

単位：農薬kg/10a又はリットル/10a、肥料kg/10a)

作業名	年月日	資材名	施用量	成分回数・窒素施用量	備考
耕起作業	28.10				ロータリー耕
カバークロープ播種	28.10.～				ロータリー播種機
レーザーレベラー	29.3.～				レーザー整地
有機質散布	29.3.上旬 ～29.4月	発酵鶏糞	70～1200kg		ブロードキャスター
種子消毒	29.3.上旬	温水			温湯消毒
播種	29.4.上旬	粒状培土 有機栽培用粒状培土 化学肥料及び節減対象農薬及び有機農産物の別表の2の農薬不使用培土 発酵鶏糞 スリヤグアノ	82.5リットル 1.5kg 0.6kg		10畝20枚換算 播種機使用床土下層に床土箱詰、発酵鶏糞散布、スリヤグアノ散布、床土表層箱詰め、散水、播種、覆土
発芽	播種後5～7日				育苗ハウス内に積み上げ簡易発芽を行う
育苗	発芽確認後～田植終了	水を保つためのシート等 地下水			
耕起作業第3回目	29.3上～4月				ロータリー耕
水管理作業	29.4上旬～落水まで				軽トラック、1.5トン、2トン車等
代掻き作業	29.4上旬～5月中旬				代かきハロー
田植え作業	29.4下～5	ルーチン粒剤 尿素 マグマリン シウワ1和粒剤	1kg 6kg 20kg 1kg	1回 2.46kg 2回	田植え機使用、薬剤及び肥料同時散布 植え付け坪あたり株数37～48株植え
除草剤散布	田植え後7～10日	月光ジャンボ	0.4kg	3回	
土壌改良材流し込み	29.5下	海洋深層水1ヘルツ	0.1リットル		水口から流し込み
除草剤散布	29.6～7月	ワイドアタックSC	0.1リットル	1回	ブームスプレーヤーで散布
肥料散布	29.7上～8上	マグマリン スリヤグアノ	0.1kg 0.1kg		水口から流し込み
収穫、乾燥	29.9中～10上				自脱コンバインによる収穫及び遠赤乾燥機による乾燥
調整作業	出荷に合わせ順次調整				粗撰、粳すり、網目選、石抜き、色彩選、水分選、袋詰、特栽培付け、農産物検査以降出荷

○出荷量及びマーク使用枚数

出荷量 (kg)	認証マーク (リンク・ティ) の使用枚数				
	箱	袋	束	その他	合計
92225		3074			3074

○資材の使用内容

農薬成分回数		
成分回数	基準値	使用割合
7	16	5割減

窒素施用量 (kg/10a)		
窒素量	基準値	使用割合
2.46	8	5割減

○使用資材の成分内訳等

農薬名	成分名	
ルーチン箱粒剤	イソチアニル	3%
シウチ1キ粒剤	ブタロール 5.0% ペントキザン1.5%	
月光ジヤホ	カエンストール7.5% ダイムロン 37.5% メタゾスルフロン2.5%	
ワイドアタック SC	ペノキススラム 3.6%	

化学肥料の名称	窒素成分割合 (%)
尿素	41

※ 窒素成分を含む化学肥料のみ記入

培土の名称 ※	1箱当たり窒素施用量	10a 当たり使用箱数
関東農産無肥料培土	不使用	20枚

※ 窒素成分を含む化学肥料を混合している培土のみ記入

(実 績)

その2

圃場

○作業内容

(単位：農薬kg/10a又はリットル/10a、肥料kg/10a)

コシヒカリゆうだい21、みつひかり、新生夢ごこち

作 業 名	年月日	資材名	施用量	成分回数・窒素施用量	備考
耕起作業	28.10				ロータリー耕
カバークロープ播種	28.10.～				ロータリー播種機
レーザーレベラー	29.3.～				レーザー整地
有機質散布	29.3.上旬 ～29.4月	発酵鶏糞	コシヒカリ、ゆ うだい21、 70～100kg みつひかり及び 新生夢ごこ ち600kg		ブロードキャスター
種子消毒	29.3.上旬	温水			温湯消毒
播種	29.4.上旬	粒状培土 有機栽培用粒状培土 化学肥料及び節減対象農薬及 び有機農産物の別表の2の農 薬不使用培土 発酵鶏糞 スリヤグアノ	82.5リットル 1.5kg 0.6kg		10 ² 20枚換算 播種機使用床土下層に床 土箱詰、発酵鶏糞散布、 スリヤグアノ散布、床土 表層箱詰め、散水、播種、 覆土
発芽	播種後5～7 日				育苗ハウス内に積み 上げ簡易発芽を行う
育苗	発芽確認後 ～田植終了	水を保つためのシート 等 地下水			
耕起作業第3回目	29.3上～4月				ロータリー耕
水管理作業	29.4上旬 ～落水まで				軽トラック、1.5ト ン、2トン車等
代掻き作業	29.4上旬～ 5月中旬				代かきハロー
田植え作業	29.4下～5	ルーチン粒剤 尿素 マグマリン シウチ1 ^{kg} 粒剤	1kg 6kg 20kg 1kg	1回 2.46kg 2回	田植え機使用、薬剤 及び肥料同時散布 植え付け坪あたり株 数37～48株植え
除草剤散布	田植え後7 ～10日	月光ジャンボ	0.4kg	3回	
土壌改良材流し込み	29.5下	海洋深層水1ヘルツ	0.1リットル		水口から流し込み
除草剤散布	29.6～7月	バサグラン液剤	0.5リットル	1回	ブームスプレーヤーで散布
収穫、乾燥	29.9中～11中 旬				自脱コンバインによる収穫及 び遠赤乾燥機による乾燥
調整作業	出荷に合わ せ順次調整				粗撰、籾すり、網目選、 石抜き、色彩選、水分選、 袋詰、特裁格付け、農産 物検査以降出荷

○資材の使用内容

農薬成分回数		
成分回数	基準値	使用割合
7	16	5割減

窒素施用量 (kg/10a)		
窒素量	基準値	使用割合
2.46	8	5割減

○使用資材の成分内訳等

農薬名	成分名	
ルーチン箱粒剤	イソチアニル	3%
シウバ1キ粒剤	ブタクロール 5.0% ペンタキザン1.5%	
月光ジャンボ	カエンストロール7.5% ダイムロン 37.5% メタゾスルフロン2.5%	
バサグラン液剤	ペンタゾナトリウム塩	40%

化学肥料の名称	窒素成分割合 (%)
尿素	41

○出荷量及びマーク使用枚数

出荷量 (kg)	認証マーク (リンク・ティ) の使用枚数				
	箱	袋	束	その他	合計
92225		3074			3074

○栽培記録の確認

栽培管理記録の確認欄 (署名・印)	これまでの農薬成分回数及び 化学肥料施用量 (kg/10a)		備 考
	農薬成分回数	窒 素	
2017年9月10日小野崎勇治 	7 回	2.46	
年 月 日	回		
年 月 日	回		

○特記事項

--

(実 績)

圃場

○作業内容
夢ごこち

その2

(単位：農薬kg/10a又はリットル/10a、肥料kg/10a)

作 業 名	年月日	資材名	施用量	成分回数・窒素施用量	備考
耕起作業	28.10				ロータリー耕
カバークロープ播種	28.10.～				ロータリー播種機
レーザーレベラー	29.3.～				レーザー整地
有機質散布	29.3.上旬 ～29.4月	発酵鶏糞	100kg		ブロードキャスター
種子消毒	29.3.上旬	温水			温湯消毒
播種	29.4.上旬	粒状培土 有機栽培用粒状培土 化学肥料及び節減対象農薬及 び有機農産物の別表の2の農 薬不使用培土 発酵鶏糞 スリヤグアノ	82.5 ^{リットル} 1.5kg 0.6kg		10 ^{リットル} 20枚換算 播種機使用床土下層に床 土箱詰、発酵鶏糞散布、 スリヤグアノ散布、床土 表層箱詰め、散水、播種、 覆土
発芽	播種後5～7 日				育苗ハウス内に積み 上げ簡易発芽を行う
育苗	発芽確認後 ～田植終了	水を保つためのシート 等 地下水			
耕起作業第3回目	29.3上～4月				ロータリー耕
水管理作業	29.4上旬 ～落水まで				軽トラック、1.5ト ン、2トン車等
代掻き作業	29.4上旬～ 5月中旬				代かきハロー
田植え作業	29.4下～5	ルーチン粒剤 尿素 マグマリン シウチ1キ粒剤	1kg 6kg 20kg 1kg	1回 2.46kg 2回	田植え機使用、薬剤 及び肥料同時散布 植え付け坪あたり株 数37～48株植え
除草剤散布	田植え後7 ～10日	月光ジャンボ	0.4kg	3回	
土壌改良材流し込み	29.5下	海洋深層水1ヘルツ	0.1リットル		水口から流し込み
除草剤散布	29.6～7月	バサグラン液剤	0.5 ^{リットル}	1回	ブームスプレーヤで散布
薬剤散布	29.7月下旬	ビビフルフロアブル	0.01 ^{リットル}	1回	ブームスプレーヤで散布
収穫、乾燥	29.9中～11中 旬				自脱コンバインによる収穫及 び遠赤乾燥機による乾燥
調整作業	出荷に合わ せ順次調整				粗撰、籾すり、網目選、 石抜き、色彩選、水分選、 袋詰、特裁格付け、農産 物検査以降出荷

○資材の使用内容

農薬成分回数		
成分回数	基準値	使用割合
8	16	5割減

窒素施用量 (kg/10a)		
窒素量	基準値	使用割合
2.46	8	5割減

○使用資材の成分内訳等

農薬名	成分名	名
ルーチン箱粒剤	イソチアニル	3%
シウチ1キ粒剤	ブタクロール 5.0% ペンタキザン1.5%	
月光ジャンボ	カフェンストール7.5% ダイムロン 37.5% メタゾスルフロン2.5%	
バサグラン液剤	ペンタゾナトリウム塩	40%
ビビフルアブル	プロヘキサジオンカルシウム塩	1.0%

化学肥料の名称	窒素成分割合 (%)
尿素	41

○出荷量及びマーク使用予定枚数についてはコシヒカリ等の数字に統合しています

出荷量 (kg)	認証マーク (リンク・ティ) の使用枚数				
	箱	袋	束	その他	合計

○栽培記録の確認

栽培管理記録の確認欄 (署名・印)	これまでの農薬成分回数及び化学肥料施用量 (kg/10a)		備考
	農薬成分回数	窒素	
2017年9月10日小野崎勇治 	8回	2.46	
年 月 日	回		
年 月 日	回		

○特記事項

--